

理学療法士会 広報誌

目次

会長挨拶

山形県理学療法士会会長 多田利信……………2

理学療法って

なんだろう……………3

理学療法士になるには……………4

施設紹介

- ・介護老人保健施設ほのか……………5
- ・最上町立最上病院……………5
- ・篠田総合病院……………6
- ・三友堂通所リハビリテーション……………6

学校紹介

- ・公立大学法人
山形県立保健医療大学……………7
- ・学校法人 諏訪学園
山形医療技術専門学校……………7

公益事業部の紹介……………8

山形県理学療法士会





会長挨拶

山形県理学療法士会会長
多田利信

年に一度の広報誌の発行にあたり会長として一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

当会は山形県内の病院・クリニック・福祉施設・行政機関・養成学校・ボランティア団体などで働く理学療法士全ての共通した職能団体で、組織率は9割を超えます。

昨年も書かせていただきましたように、理学療法という仕事や学問を通じて、山形県民の医療・福祉・疾病介護予防・健康増進に直接寄与すると共に、山形県の保健・医療・福祉水準のレベルアップを目的として活動しております。あわせて、会員の人格・倫理・知識・技能の向上も目的とし日々努力しております。

さて、御存知の方も多いと思いますが、今年度の医療保険診療報酬改訂により医科全体では+1.74%の改定に対し、リハビリ関連は試算でも約5%、実績で10%強の増となっております。これは厳しい国の財政の中での社会保障として、リハビリテーションが特に重要視されてきていると考えられます。社会背景の大きな変化もありますが、理学療法士・作業療法士が誕生して44年を経て、ようやく社会にその重要性が認識されてきたのかと内心嬉しく思っておりました。ただし高齢社会にあぐらをかいて努力を怠っていたのでは、またあつという間に他の分野に追い抜かれていくだろうという危惧も忘れてはおりません。まさに日進月歩の現代医療において、我々理学療法士も進歩に取り残されないように日々勉強、研鑽を続けていかないといけないと痛感しております。また近年の理学療法士の急増に対する「きちんとした質の担保」も我々職

能団体の使命だと感じております。

そのような中で今年になって脊髄損傷患者さんに対する画期的な治療が試みられ、報告されてきております。御存知のように米国ジョージア州での（胎児から採取した）ES細胞を使った、脊髄損傷患者への臨床試験の成功です。さらに本国では、一步遅れてはおりますが、今年12月に慶応大学で（倫理的に問題の低い）皮膚のIPS細胞を使った脊髄損傷サルへの臨床実験も成功しております。

勿論そのこと自体は我々の領域の進歩ではありませんが、このような治療を受けられた患者さんたちをきちんとフォローさせていただき、本来治るべき最高のレベルまで回復を促し自立を高めることが今後の我々の役割と感じております。また、今年度から患者さんに対する吸引行為も私たち療法士に認められるようになりました。そしてさらに、がん疾患リハビリテーション料というものも今年度新しく創設されました。

このように私たち山形県理学療法士会会員一同は、今後益々増えるであろう期待に応え使命を果たすべく、一丸となり県民のために尽力する所存です。

県民の皆様はじめ関係団体の皆様の、益々のご支援とご協力をお願い致します。

オーダーメイドの福祉用具
LCS 株式会社 ライフケアサポート
山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

健康増進

メタボリックシンドローム、腰痛など、現代社会が抱える身体の問題に対して生活様式から運動の方法まで、詳しく説明、指導することができます。



機能回復

病気やケガによる障がいの評価と理学療法プログラムで、起きる、座る、立つ、歩く、といった動作や機能回復のお手伝いができます。



社会復帰

スポーツや事故、難病などで、障がいを持つ全ての人々が、復学や復職など社会復帰のために、身体と心の両面から回復をお手伝いします。



自立支援

介護老人保健施設、介護老人福祉施設、身体障害者療護施設などにおいて、いつまでも、その人らしく在るための支援をします。



教育・研究

保健・医療・福祉などの分野で基礎から実践までの研究活動を推進し、「理学療法学」のより良い教育体制の構築を目指しています。



生活支援

安心・安全の暮らしを維持するために必要な日常生活動作から住環境調整まで、生活そのものを幅広くサポートできます。



理学療法って なんだろう？



理学療法とは、身体の障がいに対して運動療法や温熱、水、電気治療などの物理療法を用いて機能の向上・改善を図る治療科学です。さらに、日常生活動作を改善するための指導や、快適な社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれます。近年は、生活習慣病予防、介護予防などの予防活動にも積極的に取り組んでいます。

介護予防

高齢者の、身体と心をイキイキと保ち快適な生活が送れるよう、老年症候群の予防を通して支援することができます。



心身機能の向上

デイサービスやデイケアなどの通所サービスで集団・個別に心身機能の維持・向上のための運動を計画・実行できます。



地域リハビリテーション

様々な専門職と連携し、地域の社会資源を上手く活用し、皆さんの暮らしを創造するお手伝いをします。



理学療法士になるには

理学療法士になるためには、「理学療法士及び作業療法士法 第3条 第11条」に基づいて国家試験の受験資格を取得し、合格しなければなりません。

〔理学療法士及び作業療法士法〕

第3条 理学療法士又は作業療法士になろうとする者は、理学療法士国家試験又は作業療法士国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許（以下「免許」という。）を受けなければならない。

第11条 理学療法士国家試験は、次の各号のいずれかに該当する者でなければ、受けることができない。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第56条第1項の規定により大学に入学することができる者（この号の規定により文部科学大臣の指定した学校が大学である場合において、当該大学が同条第2項の規定により当該大学に入学させた者を含む。）で、文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設において、3年以上理学療法士として必要な知識及び技能を修得したもの
2. 作業療法士その他政令で定める者で、文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設において、2年以上理学療法に関する知識及び技能を修得したもの
3. 外国の理学療法に関する学校若しくは養成施設を卒業し、又は外国で理学療法士の免許に相当する免許を受けた者で、厚生労働大臣が前2号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認定したもの

理学療法士になるまでの流れ

・高等学校卒業（あるいはそれと同等の資格）



・養成校に入学

4年制大学・短期大学（3年）・専修学校（3・4年）



国家試験受験資格取得



・国家試験受験



・国家試験合格



理学療法士免許取得

施設紹介

介護老人保健施設ほのか

当施設は平成15年12月に開所し8年目を迎えました。三川町に位置し、近隣の酒田市・鶴岡市・庄内町からも多くの方々に利用して頂いています。

入所は一般棟50床・認知症専門棟50床の計100床で、ユニット型になっており、一人ひとりの生活を大切にしながら、身体機能や認知機能の維持・向上、可能な限りの在宅復帰を目指しています。通所リハビリ（定員40名）では、安全に在宅生活を送ることができ、また、利用者様が生活の中で様々なことに挑戦できるように身体機能や能力に合わせたりハビリを提供しています。施設でのリハビリは病院と異なり、生活が主体となります。病気やケガをしてから長年経過した方が多いですが、少しでも長く現在の生活を元気に続けていくために、日々、利用者様と一緒に考えながら生活を支援させて頂いています。

理学療法士3名・作業療法士1名の少人数ですが、施設内の全職種や地域との連携を図りながら、当施設を利用して頂いている利用者様によりよいサービスを提供できるよう、今後も頑張っていきたいと思えます。



最上町立最上病院

当病院は、町の中心部で国道47号線沿いにウエルネスプラザと呼ばれる平屋建ての建造物群の一角にあります。ウエルネスプラザとは保健・医療・福祉とが連携した地域に根ざしたケアを目指して平成4年度から順次整備されました。町健康福祉課、社会福祉協議会事務局、高齢者総合福祉センター、介護老人保健施設、グループホーム等が一箇所に集まり棟続きとなっています。ウエルネスプラザのもう一つの特徴は温泉を利用した入浴施設があることです。この温泉は当病院の外来待合の一角に足湯のスペースや、病棟の一般浴室、個室にも引かれています。病院の規模は、一般病床50床、療養病床20床です。リハビリのスタッフは理学療法士2名、作業療法士1名（介護老人保健施設専属）、マッサージ師1名です。



地域の特性上、高齢の患者様・利用者様が多い中で、患者様・利用者様の視点で、少しでも日常の生活が楽しくいきいきと送れるお手伝いができるように頑張っております。

施設紹介

篠田総合病院

当院は、急性期から回復期、維持期、訪問と患者様を包括的に支援できる環境が整っています。また、回復期リハビリテーション病棟(54床)も開設しており、市内の急性期病院との連携により患者様が在宅に戻られるまでの支援を行っています。今年度より365日体制となり、より多くの患者様が自宅復帰できるよう、スタッフ一丸となり、毎日リハビリテーションに励んでいます。

今年は8人の新入職員を迎え、PT17名、OT15名、ST5名、マッサージ師2名、スタッフ3名となり、活気に満ちた環境の中でリハビリテーションを展開しています。スタッフ間での連携を忘れず、篠田総合病院の「常に患者様の権利を重んじ、地域に根ざし信頼される病院を目指す」という理念のもと、患者様との信頼関係を大事にして日々の業務に取り組んでいます。



三友堂通所リハビリテーション

当施設は、H19年7月に、回復期病棟に併設した通所リハビリとして開設しました。理学療法士1名、作業療法士1名が専従で、言語聴覚士も週2回兼務で関わっており、充実した個別リハビリが提供できるようになっています。利用している方は、回復期から自宅退院後すぐに利用される方や、発症後何年か在宅生活を送り、リハビリの必要性を感じた方など様々です。

在宅生活を送っている方は維持期と言われますが、能力面での回復がみられたり、楽しみを見つけたりして、生活が発展する方もいらっしゃいます。個別リハビリでの関わりだけでなく、通所リハビリ内での生活動作場面を通し、趣味活動や、役割を持った生活ができるように、また、活動範囲が広がっていくように、他職種のスタッフとも協力して、楽しみのある自立した在宅生活が送れるように関わっていきたいと思います。



公立大学法人 山形県立保健医療大学



本学は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科の3学科からなる保健医療学部を擁し、平成12年4月に開学致しました。平成16年4月からは、3分野（理学療法、作業療法、看護）の修士課程、保健医療学研究科を専攻する大学院を開設しております。キャンパスは山形市の北部（山形市上柳）に位置し、周囲には「健康の森公園」があり、静穏な環境で教育が行われております。本学理学療法学科では、理学療法士として必要な高い治療技術を身につけるべく技術教育と、理学療法を科学として確立させていく視点を養う教育に力を注いでおり、21世紀における科学としての理学療法の発展を担う人材の育成に取り組んでおります。理学療法の対象は、急性期医療から、在宅医療、健康増進やスポーツ領域に渡るさまざまな分野が含まれます。本学では1学部3学科の特徴を生かし、お互いの職種の役割を理解し、保健・医療・福祉の現場で連携、協調できる人材の育成に取り組んでおります。また本学では、コラド大学理学療法学科との交流を中心として、国際交流にも力を入れております。「山形から世界へ」との思いを胸に、教員、学生ともども努力を重ねたいと思っております。



厚生労働省指定養成施設 学校法人 諏訪学園
山形医療技術専門学校
 Yamagata College of Medical & Sciences



【学校紹介】

本校は理学療法学科、作業療法学科を有する4年制の専門学校です。平成7年に開校し現在までに400名を超える理学療法士を輩出しており、県内の病院、施設等に多くの卒業生が勤務し活躍しております。また、昨年度においては国家試験合格率、就職率ともに100%となっております。

学校見学について

本校では連絡をいただければ、随時学校見学が可能です。

会場： 山形医療技術専門学校

内容： 学校の特色や入試についての説明、校内見学（実習室など）、質問コーナー

対象： 受験生だけでなく、高校1・2年生、先生方、保護者の方も参加できます。

また、7・8月にはオープンキャンパスを実施しております。

募集

学 科： 医療専門課程 理学療法学科 40名

修業年限： 修業年限 4年間（昼間）

- 選抜方法：
- ・推薦選抜（公募・自己）
 - ・社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
 - ・一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

◎もっと詳しく知りたい方はお気軽に学校までご連絡下さい。

【連絡先】

学校法人諏訪学園 山形医療技術専門学校
 〒990-2352 山形県山形市大字前明石字水367番地
 TEL(023)645-1123 FAX(023)645-1250
 ホームページ <http://www.ymisn.ac.jp/>

◆山形県厚生労働省指定◆
W (有) 渡 部 義 肢

◆営業品目◆
 義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足（モジュラー）

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
 TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
 いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 **生活住環境整備山形**

〒990-0805 山形市檀野前13-2

TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

● 公益事業部の紹介 ●

活動内容として、各団体から依頼された介護予防教室や膝痛などの予防教室の講師派遣、関連イベントの参加協力など行っています。詳しくは山形県理学療法士会のホームページをご覧ください。

(<http://www.dream-pt-yamagata.jp/>)
三友堂病院 菅野

病院設備器械一式・輸入機器医科器械一式販売
HEART of MARUKI
人の生命と健康をハートで献身。それがわたしたちの生き。お客様の満足と信頼を得るために、限りなく高い信頼性をたずねて。

MARUKI 丸本医科器械株式会社

■本社 〒981-1105 仙台市太白区西本町3-20-7 TEL:022(24)322-990
■仙台支店 〒981-1105 仙台市太白区西本町3-20-7 TEL:022(24)322-990
■山形支店 〒980-2338 山形市蔵王通り2-2-22 TEL:023(56)9-3000

■仙台支店 〒029-0806 盛岡市駅前通り1-48 TEL:023(86)1-8005 的
■山内支店 〒998-0852 酒田市東町1-1-7 TEL:023(22)3-7586 的
■水沢支店 〒023-0553 水沢市大字町1-23 TEL:023(72)9-1752 的

福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー製作
(有)アシスト
〒991-0048 山形県寒河江市みずさ一丁目6-4
TEL:0237(8)3-5525/FAX:0237(8)5-5454
E-mail:assist@corp.email.ne.jp

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>
株式会社 タマツ
本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒992-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

医療機器・在宅介護用品
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION
株式会社 **トーク**
〒997-0806 山形県鶴岡市大字遠賀原字稲荷 41-2
TEL(0235)22-1009(代) FAX(0235)25-8139
日医器連・連正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail:took@coral.ocn.ne.jp

YK 厚生労働省 指定
山形福祉法義肢製作所指定
有限会社 **山形義肢研究所**
—営業品目—
義手・義足・コルセット・福祉用具
補助スリッパ・松葉杖・車いす
整形器具・車いす用具
代表取締役 植松茂夫
山形市蔵王五丁目5番39号
電話 (023) 632-6214

編集後記

こんにちは、山形県理学療法士会です。広報誌も2巻目になりました。県内4地区施設紹介や学校紹介、理学療法とはなにか？また、理学療法士になるためにはどうしたらよいか？など掲載しております。この広報誌で、私達山形県理学療法士会を身近に感じてもらえれば幸いです。

三友堂リハビリセンター 島貫

SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社

仙台営業所

〒984-0032 仙台市若林区荒井字遠藤47番地の1
TEL:022-390-6840 FAX:022-390-6842

明日への地域医療・高度医療に貢献する

—信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ—

ライフテクノロジーを追求する
株式会社 シバタ インテック
本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3
TEL 022(236)2311(代表) FAX 022(236)2362

・山形支店・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター
ホームページ：www.shibaintech.co.jp

医療の未来を見つめる総合商社

岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

思いやりリハビリ・まごころケア

(有)福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) 26-1725
FAX (0234) 26-6780

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型指節端を含む)
・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄
山形市江俣3丁目15-1
☎(023)681-0489(FAX)
(有)安達ブレイス製作所

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書・介護学書・医学一般
高陽堂書店
株式会社
〒980-0811 山形市蔵王五丁目5番39号
TEL:023(6)32-188
TEL:023(6)32-189
TEL:023(6)32-190

山形県各福祉事務所指定
義肢・補装具・コルセット・車椅子一般・その他

有限会社 田中義肢装具製作所

山形市あかねヶ丘1丁目3-15(山商体育館西側)
TEL(代表)645-4600
FAX645-5424

■発行者/山形県理学療法士会 ■発行者/多田 利信 ■編集者/小松 裕和
■広報部/三友堂リハビリセンター

〒992-0057山形県米沢市成島町3丁目2番90号 TEL(0238)21-8100
FAX(0238)21-8119

E-mail:rehabiri@rehab.sanyudo.or.jp

表紙：トトロの木(米沢市李山)